

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木市春日1丁目計画新築	階数	地上5F
建設地	大阪府茨木市春日1丁目1番2の一	構造	RC造
用途地域	商業地域、近隣商業地域、第2種住	平均居住人員	105 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年11月21日
敷地面積	1,423 m ²	作成者	塩田 雅樹
建築面積	818 m ²	確認日	2022年11月21日
延床面積	3,081 m ²	確認者	塩田 雅樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	138
②建築物の取組み	97%
③上記+②以外の	97%
④上記+	97%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.4
温熱環境	2.4
光・視環境	3.8
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.7
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.1
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネに配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材を使用し化学汚染物質の発生を抑制した。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り植込みを設け草木を植樹した。
Q2 サービス性能	維持管理において管理しやすい壁材、床材を使用した。	
LR1 エネルギー	LED照明及び省エネ設備機器を採用した。	LR3 敷地外環境 地球温暖化への配慮をした。
LR2 資源・マテリアル	節水に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0115

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)茨木市春日1丁目計画新築工事					
		建設地	(仮称)大阪府茨木市春日					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					3		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.1	3		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0	3		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.6	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			2.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								